

## 長期投資家の皆様へ

先日の伊勢志摩サミットでは、議長国日本の安倍首相の「世界経済はリーマンショック前夜の状況」発言が、他の首脳たちから大袈裟な我田引水発言と否定的に受け止められたように、日本を除く先進各国の経済状況は、決して悪化しているわけではありません。

今年の経済成長率予測では米国で 2.5%程度、欧州でも 1%以上の底入れ回復が見通される中で、日本だけがアベノミクス効果の息切れでほとんどゼロ成長に停滞しており、到底消費税増税が実行出来る状況にはないことから、増税延期の言い訳としてのアリバイ作りを目論んだ「リーマン前」発言だったのでしょう。

直近では、原油価格が安定して、中国も金融緩和と財政出動で経済失速懸念に一服感が出ていることで、日本も含め世界の株式市場は価格水準を穏やかに回復基調に載せていますが、4月以降グローバルに金融市場の資金フローは細っていて、先行きへの楽観ムードは依然乏しいままです。

とりわけ日本経済の景況感は閉塞気分に傾いていて、株式市場の売買も低迷しています。国内消費はデフレマインドに逆戻りで、個人投資家の資金投入もパッタリと枯渇するなど、アベノミクス以前の悲観風景に戻ったとさえ言えるほど、国内は暗鬱感が覆っています。

しかし、国際分散投資の「セゾン号」長期投資家なればこそ、周囲の沈滞ムードから解放されて、グローバルな実体経済を冷静に捉えられるはずですよ。

米国の利上げは確かに近づいていますが、これは世界経済の中核たる米国景気の相応な力強さを裏付けるものであり、「セゾン号」は円高基調への戻りをむしろ次の好機と認識して、じっくりと地球経済の穏やかな成長軌道へ素直にトレースしながら進んでおります。

中野 晴啓

## 今月の市場動向

世界の株式市場についての概況

株式市場は、一部の国で下落したものの、概ね上昇しました。

序盤から、原油価格が反落に転じ、リスク回避の動きが強まるなかで、中国で製造業の景況感指数の低迷が確認され、中国経済の先行きに対する楽観的な見方が後退したほか、イギリスでも製造業の景況感指数の低下が確認され、欧州連合（EU）からの離脱を巡る国民投票を控えてイギリス経済の先行きに対する不透明感が高まったこともあり、株式市場は軟調な展開となりました。

中盤には、原油価格が反発に転じたことを受けてリスク選好が強まったことから、反発に転じる局面もあったものの、中国で弱い経済指標の発表が続き、中国経済の先行きに対する懸念が高まったことや、米連邦公開市場委員会（FOMC）議事録の公表を受けて、米国で利上げ観測が高まったことから、力強さを欠く展開となりました。

終盤には、原油価格が一段と上昇するなかで、米国経済の先行きに対する明るい見方が広がったことやイギリスの欧州連合（EU）からの離脱懸念が後退したことを背景に、先進国と新興国の株式市場が共に上昇し、その後も堅調な展開が継続しました。

## 5 月度の商品価格の動向

|                         | 終値        | 騰落率    |
|-------------------------|-----------|--------|
| NY 原油先物（WTI／直近限月）／1 バレル | 49.10 ドル  | +6.93% |
| NY 金先物（中心限月）／1 トロイオンス   | 1217.5 ドル | -5.81% |

先進国による大規模な金融緩和策が長期間継続しているものの、世界的に景気は力強さに欠け、米国を含めた先進国では自国通貨の上昇による輸出競争力の低下が景気に与える影響が無視できないものとなっており、為替政策を巡っては各国・地域が協調姿勢を打ち出せない状況となっています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## 5 月度の市場動向について

### 米国株式

米国の株式市場は、上昇しました。

序盤に発表された製造業や非製造業の景況感指数は良好な結果となり、米国経済の先行きに対する明るい見方は維持されたものの、原油価格が下落してリスクを回避する動きが強まったことから株式市場はやや軟調に推移し、その後は雇用統計で非農業部門の雇用者数の伸びが予想を下回ったものの、利上げ観測が後退したことから、底堅い展開となりました。

中盤にかけては、原油価格の上昇によりリスク回避志向が後退するなかで上昇する局面もあったものの、期待を下回る企業決算の発表が続いたことから株式市場は反落に転じ、その後発表された4月の小売売上高では幅広い項目で増加が確認され、個人消費の回復への期待が高まったものの、下落基調が継続しました。

中盤以降は、複数の地区連銀総裁による利上げに前向きな発言が続いたほか、4月に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事録で、参加者が6月の利上げに前向きな姿勢を示していることが確認され、利上げへの警戒が強まったことから、軟調な展開となる局面もありましたが、終盤には新築住宅販売件数が予想を大きく上回ったことをきっかけに景気の先行きへの明るい見方が広がって大きく上昇し、その後も堅調な展開が続きました。

### 5 月度の主要指数の概況

|                     | 終値       | 月間騰落率  |
|---------------------|----------|--------|
| ダウ・ジョーンズ工業株価平均（米ドル） | 17787.20 | +0.08% |
| S&P500（米ドル）         | 2096.96  | +1.53% |
| ナスダック総合指数（米ドル）      | 4948.055 | +3.62% |

米国でも物価の伸びは低い水準となっているものの、ISM 製造業景況感指数で仕入れ価格指数の上昇が確認されるなど物価が上昇する兆候が見られることもあり、米国の金融当局は利上げに前向きな姿勢を示しています。

### 欧州株式

欧州の株式市場は、イギリスではほぼ変わらずとなったものの、全体的に上昇しました。

序盤に発表されたイギリスの製造業 PMI が約 3 年振りに判断の分かれ目となる 50 を下回ったほか、欧州委員会がイギリスの成長見通しを引き下げたことで、イギリスで景気の先行きに対する懸念が一段と高まるなかで、原油価格が下落し、リスクを回避する動きが強まったこともあり下落基調となりました。

中盤にかけては、原油価格が上昇したことを受けて上昇する局面もあったものの、イギリスの欧州連合（EU）離脱を問う国民投票を控えて、欧州景気の先行きへの不透明感が広がっていることもあり力強さを欠く展開となりました。中盤以降は、原油価格が上昇基調となるなかで、イギリスの世論調査で欧州連合（EU）残留への支持が拡大しているとの報道が伝わり、警戒が和らいだことから、株式市場は上昇基調となり、その後は米連邦公開市場委員会（FOMC）議事録の公表を受けて米国で利上げ観測が強まってドルが上昇し、ユーロが下落したことから底堅い展開となりました。終盤には、ユーロ圏の企業の景況感を示す指数がやや弱い結果となったこともあり、軟調に推移する局面もあったものの、米国で景気の先行きに対する明るい見方が広がったことや世論調査の結果を受けてイギリスの欧州連合（EU）からの離脱への懸念が和らいだことを受けて上昇しました。

### 5 月度の主要指数の概況

|                     | 終値       | 月間騰落率  |
|---------------------|----------|--------|
| 独 DAX 指数（ユーロ）       | 10262.74 | +2.23% |
| 仏 CAC 指数（ユーロ）       | 4505.62  | +1.73% |
| 英 FT100 指数（英ポンド）    | 6230.79  | -0.18% |
| スイス SMI 指数（スイスフラン）  | 8216.42  | +3.21% |
| MSCI Europe 指数（ユーロ） | 116.86   | +1.49% |

イギリスでは、6月23日に欧州連合（EU）からの離脱の是非を問う国民投票が実施される予定となっていますが、離脱が選択された場合、経済に大きな影響を与えることが見込まれることから、市場参加者の注目を集めています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

### 日本株式

国内の株式市場は、上昇しました。

前月末に、日本銀行が追加緩和を見送ったことによる失望が広がるなかで、米  
国財務省が日本を不公平な為替政策が疑われる国のリストに指定したと発表し  
たことを受けて、為替市場で一段の円高が進行したこと、序盤の株式市場は  
大きく下落しました。

中盤にかけては、原油価格が上昇してリスク回避志向が後退するなかで、為替  
市場での円高が一段落したことを受けて、株式市場は反発に転じましたが、その  
後はトヨタ自動車が大幅な減益決算を発表して企業業績への不安が広がったこ  
ともあり、力強さを欠く展開となりました。中盤には、1-3 月期の GDP が予想  
を上回る伸びとなったことから、景気の先行きに対する懸念が後退して上昇基調  
となり、その後は米連邦公開市場委員会 (FOMC) 議事録の公表を受けて米国で  
利上げ観測が高まってドルが上昇し、対ドルで円安基調が続いたことから堅調な  
展開が継続しました。

終盤には、主要 7ヶ国 (G7) 財務相・中央銀行総裁会議で政策協調が打ち出さ  
れず、失望が広がるなかで、為替市場で円高基調となったことから、株式市場は  
軟調な展開となる局面もあったものの、その後は米国経済の先行きに対する明る  
い見方が広がるなかでドルが上昇し、対ドルで円安となったことを受けて上昇し  
ました。

### 5 月度の主要指数の概況

|                   | 終値       | 月間騰落率  |
|-------------------|----------|--------|
| 日経平均株価指数 (円)      | 17234.98 | +3.41% |
| TOPIX[東証株価指数]     | 1379.80  | +2.93% |
| MSCI Japan 指数 (円) | 830.45   | +2.59% |

1-3 月期の GDP (速報) は、前期比で個人消費が予想以上の伸びを記録し、2  
期ぶりのプラスとなりましたが、為替市場で円高が進行するなかで、企業の設備  
投資が予想以上に落ち込むなど、力強さに欠ける状況となっています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

### 太平洋株式 (日本を除く)

太平洋地域 (日本を除く) では、オーストラリアの株式市場が上昇する一方で、  
香港やシンガポールの株式市場が下落しました。序盤、中国で企業の景況感を示  
す指数の低迷が確認され、中国経済の先行きに対す明るい見方が後退するなかで、  
原油などの資源価格が反落に転じ、リスク回避の動きが広がったことから、物価  
の低迷を背景に政策金利が引き下げられたオーストラリアの株式市場は堅調に  
推移したものの、その他の株式市場は下落基調となりました。

中盤にかけては、中国の貿易統計が弱い結果となり、中国経済の先行きへの懸  
念が高まるなかで、一段の利下げ期待が高まったオーストラリアの株式市場は堅  
調に推移したものの、その他の株式市場は軟調な展開が継続しました。

中盤には、中国の鉱工業生産が予想を下回る伸びに留まり、中国の鉱業部門の  
減速への警戒が強まるなかでも、原油価格が上昇してリスク回避志向が後退した  
ことを受けて上昇する局面もありましたが、その後は米連邦公開市場委員会  
(FOMC) 議事録の公表を受けて、米国の利上げ観測が高まり、資金流出への懸  
念が高まったことから、力強さを欠く展開となりました。

終盤には、中国経済の先行きへの懸念は払拭されないものの、原油価格が上昇  
すると共に、米国経済の先行きへの明るい見方が広がり、リスク選好が強まるな  
かで、堅調な展開となりました。

### 5 月度の主要指数の概況

|                                | 終値       | 月間騰落率  |
|--------------------------------|----------|--------|
| MSCI Pacific ex-Japan 指数 (米ドル) | 1128.42  | -2.94% |
| S&P/ASX200 指数 (豪ドル)            | 5378.560 | +2.41% |
| 香港ハンセン指数 (香港ドル)                | 20815.09 | -1.20% |
| シンガポール ST 指数 (シンガポールドル)        | 2791.06  | -1.67% |

オーストラリア準備銀行 (中央銀行) は物価が低迷していることを理由に、約  
1 年振りに政策金利の引き下げを行いました。市場では一段の引き下げがあるの  
の見方も高まっていて、オーストラリアドルが下落基調となったことを背景に、  
オーストラリアの株式市場は堅調な展開となりました。



## 5 月度の市場動向について

### 新興国株式

新興国の株式市場は、国によりまちまちな状況となりました。

序盤、原油などの資源価格が反落に転じ、リスク回避の動きが広がるなかで、中国で企業の景況感を示す指数の低迷が確認され、中国経済の先行きに対する明るい見方が後退したことから、新興国の株式市場は下落基調となりました。その後は、米国の雇用統計が力強さを欠くものとなり、米国の利上げ観測が後退したものの、原油価格が軟調な推移となったことから、下落基調が継続しました。

中盤にかけては、中国の貿易統計で、輸出入が共に予想以上に落ち込んだことを受けて、中国経済の先行きへの懸念が高まって一段と下落する局面もあったものの、その後は原油価格が反発に転じると共に、リスク回避志向が後退したことから、底堅い展開となりました。

中盤以降は、中国の鉱工業生産や小売売上高が予想を下回って、中国経済の減速への警戒が強まるなかで、米国で複数の地区連銀総裁から利上げに前向きな認識が表明されたことや、米連邦公開市場委員会（FOMC）議事録で、参加者が6月の利上げに前向きな姿勢が示していることが確認されたことを受けて、米国の利上げ観測が強まり、新興国の株式市場からの資金流出懸念が高まって下落基調となりました。

終盤には、原油価格が上昇すると共に、米国経済の先行きに対する明るい見方が広がったことを受けて、リスク選好が強まったことから、上昇基調となりました。

### 5 月度の主要指数の概況

|                           | 終値       | 月間騰落率   |
|---------------------------|----------|---------|
| MSCI Emerging 指数（米ドル）     | 807.45   | -3.90%  |
| ブラジルボベスパ指数（ブラジルレアル）       | 48471.71 | -10.09% |
| 中国上海指数（中国元）               | 2916.616 | -0.74%  |
| 韓国総合株価指数（韓国ウォン）           | 1983.40  | -0.54%  |
| 台湾加権指数（台湾ドル）              | 8535.59  | +1.88%  |
| ロシア RTS 指数（米ドル）           | 904.33   | -4.92%  |
| S&P/BSE SENSEX 指数（インドルピー） | 26667.96 | +4.14%  |
| 南アフリカ全株指数（南アフリカランド）       | 53905.21 | +1.79%  |

中国の3月分の経済指標は、旧正月（春節）の日程の影響もあって良好なものとなり、先行きへの明るい見方が広がっていたものの、4月分の指標は軒並み低迷し、中国政府が主導する過剰生産能力削減の動きを受けて、鉄鋼や石炭産業では大規模な調整が避けられないと見られることから、景気の減速への警戒が強まっています。また、ブラジルではルセフ大統領の弾劾裁判の開始が決定して、職務が停止され、暫定政権が発足するなど、政治的な混乱が続いています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

世界の債券市場についての概況

国債市場は、中盤まで米国を含めた先進国で、低金利政策が長期化するとの見方が強まったことから、軒並み上昇基調となり、中盤以降は、米国で利上げ時期が前倒しされるとの見方が強まったことを受けて、米国債が下落するなど、やや軟調な展開となる局面もあったものの、世界的な金融緩和環境が長期化するとの見方は根強く、底堅い展開となりました。

米国債券市場（国債）

米国の国債市場は、ほぼ変わらずとなりました。

序盤に発表された ISM 製造業景況指数で仕入れ価格の大幅な上昇が確認され下落する局面もあったものの、原油価格が下落しインフレ観測が後退したほか、その後発表された雇用統計も力強さを欠く結果となり、利上げペースが緩やかなものになるとの見方が確認され堅調な推移が継続しました。中盤以降は、複数の地区連銀総裁が利上げに前向きな姿勢を示したほか、4月に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事録で、参加者が6月の利上げに前向きな姿勢を示していることが確認されたことを受けて下落しましたが、ユーロ圏や日本で低金利の長期化が見込まれる中で、米国債への需要は根強く、その後は堅調な展開となりました。

5 月度の長期金利の状況

|          | 利回り      | 前月比     |
|----------|----------|---------|
| 米 10 年国債 | 1.846%付近 | +0.013% |

欧州債券市場（国債）

ユーロ圏では、主要国と周縁国の国債が共に上昇しました。

序盤、欧州委員会がユーロ圏の 2016 年の消費者物価指数の前年比の伸び率の見通しを+0.5%から+0.2%へ引き下げたことを受けて、主要国の国債を中心に上昇し、その後も主要国の国債は上昇基調となりましたが、原油価格の下落でリスク回避志向が強まるなかで、イタリアで 50 年債の発行が検討されていると報じられ、供給増が懸念されたことから、周縁国の国債は方向感の無い展開となりました。中盤以降は、米国で利上げ観測が高まり、米国債が下落したことを受けて主要国の国債を中心に軟調な展開となる局面もありましたが、金融緩和の長期化観測を背景に堅調な展開が継続し、終盤にはギリシャ情勢を巡る不透明感が後退したことを受けて周縁国の国債を中心に上昇しました。

5 月度の長期金利の状況

|          | 利回り      | 前月比     |
|----------|----------|---------|
| 独 10 年国債 | 0.139%付近 | -0.132% |

日本債券市場（国債）

日本の国債市場は上昇しました。

序盤、為替市場で円高が進行し、リスク回避の動きが強まったことを受けて上昇しました。その後は超長期債の割高感が意識されてやや軟調な展開となり、中盤には米国で利上げ観測が高まり、米国債が下落したことを受けて下落する局面もあったほか、終盤には消費増税の延期が決定的な情勢となり、一部で財政規律低下への懸念が高まったものの、利回りを求める動きは根強く、底堅い展開が継続しました。

5 月度の長期金利の状況

|          | 利回り       | 前月比     |
|----------|-----------|---------|
| 日 10 年国債 | -0.105%付近 | -0.030% |

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

世界の為替市場についての概況

ドルは、米国で景気の先行きに対する明るい見方が広がるなかで、利上げ時期が前倒しされるとの見方が強まったことを受けて上昇しました。ユーロや円は、景気や物価の停滞を背景に金融緩和の長期化観測が高まっていることから、ドルに対して下落しました。

新興国通貨は、新興国経済の先行きに対する懸念が広がるなかで、米国で利上げ観測が高まり、資金流出への警戒が高まっていることを受けて、ドルに対して下落しました。

## ドル・円

円はドルに対して、下落しました。

前月末に大きく円高が進行した反動から、序盤の為替市場は円安基調となり、中盤にかけては麻生財務大臣が為替介入を行う用意があると発言したことを受けて円が下落し、一段と円安になりました。中盤には米国景気の先行きに対する明るい見方が広がったことを受けてドルが上昇して円安基調が続き、その後は、米国の地区連銀総裁の発言や米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事録の公表を受けて利上げ時期が前倒しされるとの見方が強まり、ドルが上昇したことから、一段と円安が進行しました。終盤には、主要 7ヶ国（G7）財務相・中央銀行総裁会議で政策協調が打ち出されなかったことを受けて、円が上昇する局面もあったものの、米国景気の先行きに対する明るい見方が広がるなかでドルは堅調な展開が続き、円安基調が継続しました。

## ユーロ・円

円はユーロに対して、下落しました。

序盤、円はユーロに対して方向感の無い展開となり、中盤にかけては麻生財務大臣が為替介入を行う用意があると発言したことを受けて円が下落し、対ユーロでも円安となりました。中盤以降は、米国景気の先行きに対する明るい見方が広がったことや、米国の利上げ時期が前倒しされるとの見方が強まり、ドルが上昇する中で、ユーロと円は共にドルに対して下落基調となり、円は対ユーロで方向感の無い展開となりました。終盤には、主要 7ヶ国（G7）財務相・中央銀行総裁会議で政策協調が打ち出されなかったことを受けて、円が上昇し、対ユーロで円高となる局面もあったものの、その後はリスク選好が強まり、日本の株式市場が上昇するなかで円が下落し、対ユーロでも円安となりました。

## 5 月度の概況

|        | レート*   | 月間騰落率        |
|--------|--------|--------------|
| 円／ドル   | 110.72 | +4.01%（円安）   |
| 円／ユーロ  | 123.25 | +1.16%（円安）   |
| ユーロ／ドル | 1.1130 | -2.84%（ユーロ安） |

\*レートは月末の米国東部標準時間 17 時のものです。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

「セゾン資産形成の達人ファンド」  
運用概況（2016年5月31日現在）

## 今月のマーケット

株式：【中国景気の先行きや米国の利上げへの警戒が高まったものの、米国で景気の先行きに対する明るい見方が拡がり堅調】

中国で発表された経済指標が力強さを欠いたほか、米国で利上げ観測が高まったことから、途中まで新興国を中心に軟調な展開となりましたが、終盤に原油価格が上昇してリスク選好が強まるなかで、米国景気の先行きに対する楽観的な見方が拡がり反発に転じました。

為替：【利上げ観測が高まったドルが上昇し、ユーロが下落。4月末に大きく上昇した円は反落に転じ、対ドル、対ユーロで円安】

米国で景気の先行きに対する明るい見方が拡がったことや利上げ時期が前倒しされるとの見方が強まったことを受けてドルが上昇し、ユーロや円が下落しました。4月末に大きく上昇した円は、政府が為替介入を強く示唆したこともあり、ユーロに対しても下落しました。

## 今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランでのご購入などにより、皆さまからお預かりした資金を利用して、コムジェストヨーロッパファンド、バンガード米国オポチュニティファンド、コムジェストエマージングマーケットファンド、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、T.ロウ・プライス米国大型グロースファンド、コムジェスト日本株式ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月から若干低下し、月末時点で1.3%となっております。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## ファンドマネジャーからの一言

株式へ投資を行うことは、企業の一部を所有することを意味しており、株式の本質的価値は企業が持つ資産や生み出す収益に裏付けられています。

当ファンドでは、一般的な市場参加者よりも長期的な視点で、企業が生み出す収益に注目することで、長期的に安定したリターンを生み出すことを目指していますが、企業が生み出す長期的な収益を高い精度で見積もるためには、それぞれの企業のビジネスモデル、競争環境などに対する多面的かつ詳細な調査と深い理解が必要であり、当ファンドでは、それぞれの地域で強みと実績を持つ投資先のファンドが、その役割を担っています。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な市場の動向ではなく投資対象の価値を重視して株式投資を継続することで、リスクを抑えながら皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

セゾン資産形成の達人ファンド  
5 月度運用レポート

## I : ファンドの基準価額と純資産総額の推移

2016年5月31日現在の基準価額と純資産総額及び騰落率

|       |         |
|-------|---------|
| 基準価額  | 15,342円 |
| 純資産総額 | 317.5億円 |

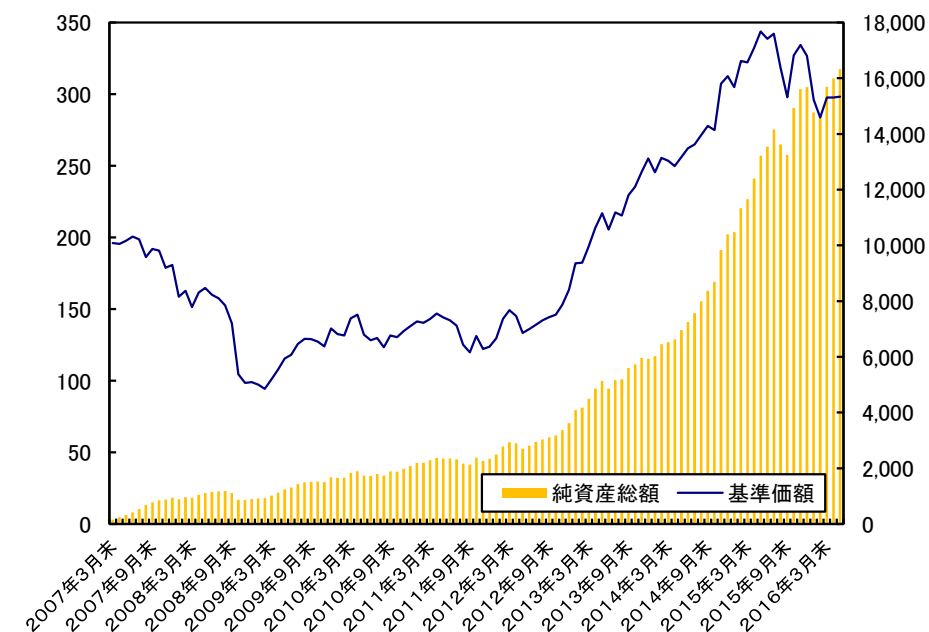
|            |         |
|------------|---------|
| 設定来騰落率     | 53.42%  |
| 過去1ヶ月間の騰落率 | 0.19%   |
| 過去6ヶ月間の騰落率 | -10.76% |
| 過去1年間の騰落率  | -13.23% |
| 過去3年間の騰落率  | 37.55%  |

\*基準価額は信託報酬控除後の数値です。騰落率は小数点第3位を四捨五入しています。

基準価額のハイライト（設定から2016年5月31日まで）

|       | 基準価額   | 日付         |
|-------|--------|------------|
| 設定来安値 | 4,601  | 2009年3月11日 |
| 設定来高値 | 17,933 | 2015年7月21日 |

純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。



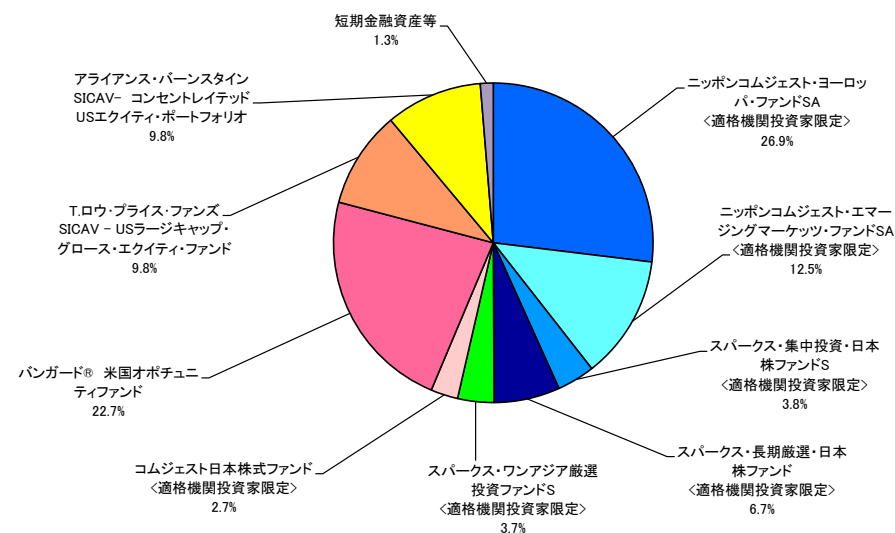
セゾン資産形成の達人ファンド  
5 月度運用レポート

II：ファンド資産の状況（2016年5月31日現在）

投資先ファンド別資産配分状況

| ファンド名称   | 比率     |
|--|--------|
| ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA<br>〈適格機関投資家限定〉             | 26.9%  |
| ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA<br>〈適格機関投資家限定〉       | 12.5%  |
| スパークス・集中投資・日本株ファンドS<br>〈適格機関投資家限定〉                 | 3.8%   |
| スパークス・長期厳選・日本株ファンド<br>〈適格機関投資家限定〉                  | 6.7%   |
| スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<br>〈適格機関投資家限定〉                | 3.7%   |
| コムジェスト日本株式ファンド<br>〈適格機関投資家限定〉                      | 2.7%   |
| バンガード® 米国オポチュニティファンド                               | 22.7%  |
| T.ロウ・ブライス・ファンズSICAV<br>- USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド | 9.8%   |
| アライアンス・バーンスタインSICAV<br>- コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ | 9.8%   |
| 短期金融資産等  | 1.3%   |
| 合計   | 100.0% |

資産配分状況(2016年5月31日現在)



※資産配分状況は小数点第2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

参考：上記投資比率の場合、当ファンドの信託報酬率（税込0.5832%/年）を加えた、受益者が負担する実質的な信託報酬率は約1.49%となります。  
（実質的な信託報酬率は、投資状況により変化します。）

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。  
当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド  
5 月度運用レポート

参考：国別投資比率、業種別投資比率（2016年4月29日現在）

## 国別投資比率

※集計の都合により、1ヶ月遅れの情報を掲載しています。

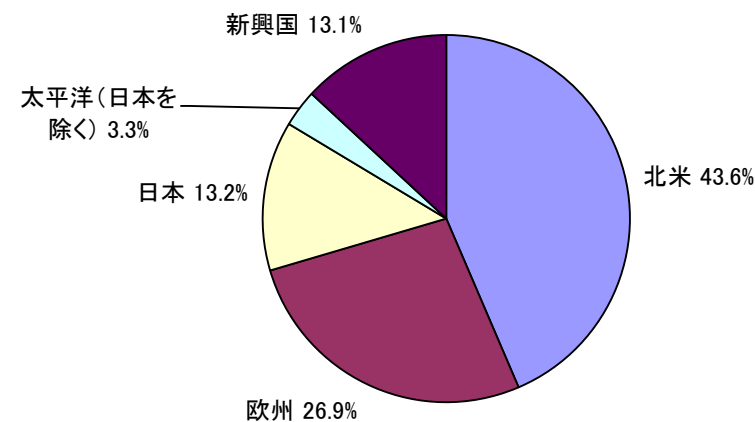
| 国名      | セゾン資産形成の<br>達人ファンドの<br>投資比率 | MSCI All Country<br>Indexの時価総額<br>に基づく比率 | 差異    |
|---------|-----------------------------|--|-------|
| アメリカ    | 43.6%                       | 53.2%                                    | -9.6% |
| 日本      | 13.2%                       | 7.5%                                     | 5.6%  |
| フランス    | 7.7%                        | 3.3%                                     | 4.3%  |
| スイス     | 3.7%                        | 3.1%                                     | 0.6%  |
| スペイン    | 3.6%                        | 1.1%                                     | 2.5%  |
| 中国      | 3.4%                        | 2.4%                                     | 1.0%  |
| デンマーク   | 3.4%                        | 0.7%                                     | 2.7%  |
| ドイツ     | 3.0%                        | 3.1%                                     | -0.1% |
| イギリス    | 2.6%                        | 6.5%                                     | -3.9% |
| 香港      | 2.5%                        | 1.1%                                     | 1.3%  |
| ブラジル    | 2.1%                        | 0.7%                                     | 1.5%  |
| インド     | 1.7%                        | 0.8%                                     | 0.9%  |
| 南アフリカ   | 1.5%                        | 0.7%                                     | 0.8%  |
| 台湾      | 1.3%                        | 1.3%                                     | 0.1%  |
| オランダ    | 1.0%                        | 1.0%                                     | 0.0%  |
| 韓国      | 1.0%                        | 1.6%                                     | -0.6% |
| スウェーデン  | 0.9%                        | 1.0%                                     | -0.1% |
| メキシコ    | 0.7%                        | 0.5%                                     | 0.2%  |
| イタリア    | 0.6%                        | 0.7%                                     | -0.1% |
| オーストラリア | 0.6%                        | 2.4%                                     | -1.8% |
| アイルランド  | 0.5%                        | 0.2%                                     | 0.3%  |
| ロシア     | 0.5%                        | 0.4%                                     | 0.1%  |
| マレーシア   | 0.4%                        | 0.4%                                     | 0.0%  |
| シンガポール  | 0.3%                        | 0.5%                                     | -0.2% |
| チリ      | 0.2%                        | 0.1%                                     | 0.1%  |
| フィリピン   | 0.1%                        | 0.1%                                     | 0.0%  |
| タイ      | 0.1%                        | 0.2%                                     | -0.1% |
| インドネシア  | 0.1%                        | 0.3%                                     | -0.2% |

\*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。

また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

\*セゾン資産形成の達人ファンドの投資対象の国は、セゾン投信株式会社の判断に基づいて分類しています。

## セゾン資産形成達人ファンドの地域別投資比率



\*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

\*セゾン資産形成の達人ファンドの投資対象の地域は、MSCI の分類を基にセゾン投信株式会社の判断に基づいて分類しています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 5 月度運用レポート

販売用資料  
2016.6.3

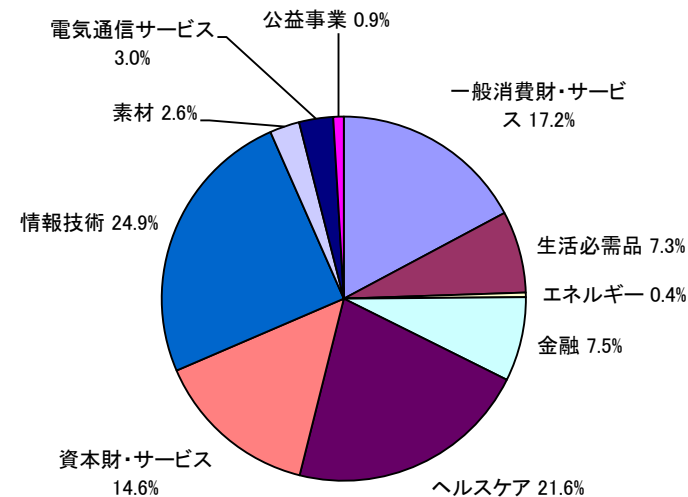
### 業種別投資比率

※集計の都合により、1ヶ月遅れの情報を掲載しています。

| 業種         | セゾン資産形成の<br>達人ファンドの<br>投資比率 | MSCI All Country<br>Indexの時価総額<br>に基づく比率 | 差異     |
|------------|-----------------------------|--|--------|
| 一般消費財・サービス | 17.2%                       | 12.7%                                    | 4.5%   |
| 生活必需品      | 7.3%                        | 10.5%                                    | -3.2%  |
| エネルギー      | 0.4%                        | 6.9%                                     | -6.5%  |
| 金融         | 7.5%                        | 20.7%                                    | -13.2% |
| ヘルスケア      | 21.6%                       | 11.9%                                    | 9.6%   |
| 資本財・サービス   | 14.6%                       | 10.6%                                    | 4.0%   |
| 情報技術       | 24.9%                       | 14.2%                                    | 10.6%  |
| 素材         | 2.6%                        | 5.1%                                     | -2.5%  |
| 電気通信サービス   | 3.0%                        | 3.9%                                     | -0.9%  |
| 公益事業       | 0.9%                        | 3.4%                                     | -2.5%  |

\*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。  
また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

### セゾン資産形成の達人ファンドの業種別投資比率



\*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 5 月度運用レポート

販売用資料  
2016.6.3

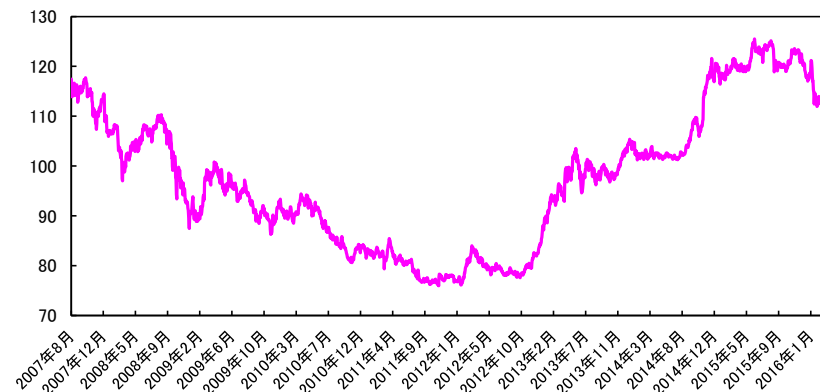
### Ⅲ：為替レートの推移

外貨建てファンドの組み入れ開始時（2007年8月15日）からの為替レート

| 日付          | 円／ドル   |
|-------------|--------|
| 2007年8月15日  | 117.44 |
| 2007年12月28日 | 114.15 |
| 2008年12月30日 | 91.03  |
| 2009年12月30日 | 92.10  |
| 2010年12月30日 | 81.49  |
| 2011年12月30日 | 77.74  |
| 2012年12月28日 | 86.58  |
| 2013年12月30日 | 105.39 |
| 2014年12月30日 | 120.55 |
| 2015年12月30日 | 120.61 |
| 2016年1月29日  | 120.87 |
| 2016年2月29日  | 113.62 |
| 2016年3月31日  | 112.68 |
| 2016年4月28日  | 109.75 |
| 2016年5月31日  | 110.94 |
|             |        |
| 変化率（組入来）    | -5.53% |
| 変化率（5月度）    | 1.08%  |

※変化率はプラスが円安、マイナスが円高。小数点第3位を四捨五入

2007年8月15日から2016年5月31日までの為替レートの推移



円／ドル

※投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して作成しています。

当ファンドは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。



IV：投資先ファンドの価格（円貨建て）

ファンドへの組入れ開始日の値を 100 とした場合の 2016 年 5 月 31 日現在の値

|  |       |
|--|-------|
| ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA<br>〈適格機関投資家限定〉             | 176.7 |
| ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA<br>〈適格機関投資家限定〉       | 133.7 |
| スパークス・集中投資・日本株ファンドS<br>〈適格機関投資家限定〉                 | 288.9 |
| スパークス・長期厳選・日本株ファンド<br>〈適格機関投資家限定〉                  | 303.6 |
| スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<br>〈適格機関投資家限定〉                | 85.1  |
| コムジェスト日本株式ファンド<br>〈適格機関投資家限定〉                      | 102.8 |
| バンガード 米国オポチュニティファンド                                | 224.2 |
| T.ロウ・プライス・ファンズSICAV<br>- USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド | 237.4 |
| アライアンス・バーンスタインSICAV<br>- コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ | 90.3  |

2016 年 4 月 28 日の値を 100 とした場合の 2016 年 5 月 31 日現在の値（5 月の動き）

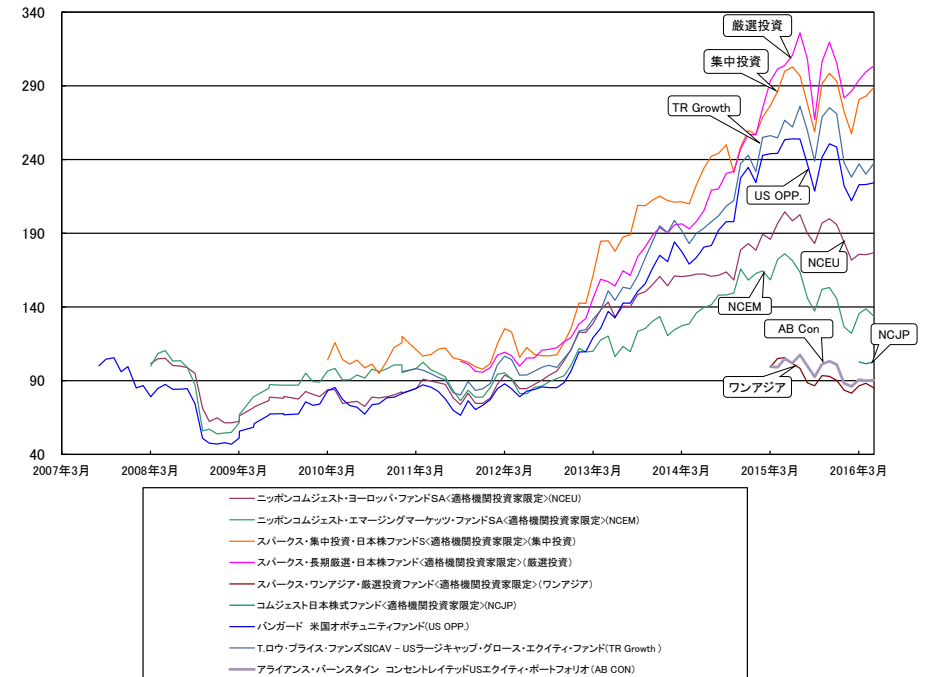
|  |       |
|--|-------|
| ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA<br>〈適格機関投資家限定〉             | 100.7 |
| ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA<br>〈適格機関投資家限定〉       | 96.4  |
| スパークス・集中投資・日本株ファンドS<br>〈適格機関投資家限定〉                 | 102.1 |
| スパークス・長期厳選・日本株ファンド<br>〈適格機関投資家限定〉                  | 101.4 |
| スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<br>〈適格機関投資家限定〉                | 96.4  |
| コムジェスト日本株式ファンド<br>〈適格機関投資家限定〉                      | 101.3 |
| バンガード 米国オポチュニティファンド                                | 100.5 |
| T.ロウ・プライス・ファンズSICAV<br>- USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド | 103.2 |
| アライアンス・バーンスタインSICAV<br>- コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ | 100.3 |

※指数は小数点以下第 2 位を四捨五入しています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

組入れ開始以来の投資先ファンドの値の推移（円貨建て）



※バンガード 米国オポチュニティファンドは 2007 年 8 月 15 日、ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA<適格機関投資家限定>は 2008 年 3 月 12 日、ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA<適格機関投資家限定>は 2008 年 3 月 31 日、スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>は 2010 年 3 月 19 日、T.ロウ・プライス・ファンズSICAV・USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンドは 2011 年 3 月 15 日、スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>は 2011 年 9 月 13 日、アライアンス・バーンスタインSICAV・コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ（クラスI）は 2015 年 3 月 23 日、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<適格機関投資家限定>は 2015 年 3 月 24 日、コムジェスト日本株式ファンドは 2016 年 3 月 14 日の値を 100 としして算出しています。価格が外貨建てのファンドは、投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算し、指数を算出しています。（日付は全て当ファンドでの評価日付です）

## セゾン資産形成の達人ファンド 5 月度運用レポート

### 投資先アクティブ運用ファンドの状況

各比率は、特に指定がない場合、純資産総額に対する比率を表します。また、小数点第2位または第3位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>

5 月度の騰落率は、日経平均株価の+3.4%、東証株価指数 (TOPIX) の+2.9%に  
対し、スパークス・長期厳選・日本株ファンドは+4.3%でした。4 月末時点の当フ  
ァンドにおける資産構成比率、業種別構成比率(上位 5 業種)、上位 10 銘柄は下記  
の通りです。また、当ファンドの組入銘柄数は 14 銘柄となっています。

資産構成比率

|        |       |
|--------|-------|
| 国内株式   | 93.5% |
| 現金・その他 | 6.5%  |

業種別構成比率(上位 5 業種(東証 33 分類))

|   | 東証33業種 | 比率(%)  |
|---|--------|--------|
| 1 | 電気機器   | 17.17% |
| 2 | 化学     | 14.68% |
| 3 | 卸売業    | 12.39% |
| 4 | その他製品  | 12.13% |
| 5 | 精密機器   | 9.20%  |

組入上位 10 銘柄※銘柄コード順

| 銘柄名        | 業種     |
|------------|--------|
| 花王         | 化学     |
| テルモ        | 精密機器   |
| 日本電産       | 電気機器   |
| キーエンス      | 電気機器   |
| シマノ        | 輸送用機器  |
| 良品計画       | 小売業    |
| アシックス      | その他製品  |
| ユニ・チャーム    | 化学     |
| ミスミグループ本社  | 卸売業    |
| ソフトバンクグループ | 情報・通信業 |

スパークス・集中投資・日本株ファンド S<適格機関投資家限定>

5 月度の騰落率は+5.2%でした。4 月末時点の当ファンドのマザーファンドにお  
ける資産構成比率、業種別構成比率(上位 5 業種)、上位 10 銘柄は下記の通りです。  
また、4 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーフ  
ァンドの組入銘柄数は 32 銘柄となっています。

(当ファンドは、マザーファンド【スパークス集中投資戦略マザーファンド】を通じて投資を行うフ  
ァミリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

|        |       |
|--------|-------|
| 国内株式   | 94.3% |
| 現金・その他 | 5.7%  |

業種別構成比率(上位 5 業種(東証 33 分類))

|   | 東証33業種 | 比率(%)  |
|---|--------|--------|
| 1 | 化学     | 17.12% |
| 2 | 不動産業   | 14.31% |
| 3 | 機械     | 9.73%  |
| 4 | 食料品    | 8.68%  |
| 5 | 卸売業    | 6.45%  |

組入上位 10 銘柄 (マザーファンドの組入れ状況) ※銘柄コード順

| 銘柄名              | 業種     |
|------------------|--------|
| 東洋建設             | 建設業    |
| ビックカメラ           | 小売業    |
| オープンハウス          | 不動産業   |
| シップヘルスケアホールディングス | 卸売業    |
| SRAホールディングス      | 情報・通信業 |
| レンゴー             | パルプ・紙  |
| 三浦工業             | 機械     |
| TPR              | 機械     |
| エフピコ             | 化学     |
| トーセイ             | 不動産業   |

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド  
5 月度運用レポート

コムジェスト日本株式ファンド<適格機関投資家限定>

5 月度の騰落率は、日経平均株価の+3.4%、東証株価指数 (TOPIX) の+2.9%に  
対しコムジェスト日本株式ファンドは+3.8%でした。5 月末時点の資産構成比率  
及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、当ファンドのマザー  
ファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 37 銘柄となっており  
ます。

(当ファンドは、マザーファンド【コムジェスト日本株式マザーファンド】を通じて投資を行うファミ  
リリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

|          |       |
|----------|-------|
| 国内株式等    | 96.9% |
| 短期金融資産など | 3.1%  |

組入上位 10 銘柄と組入比率 (マザーファンドの組入れ状況)

| 銘柄                 | 業種         | 国  | 比率   |
|--------------------|------------|----|------|
| 1 エムスリー            | ヘルスケア      | 日本 | 4.3% |
| 2 ポーラ・オルビスホールディングス | 生活必需品      | 日本 | 4.3% |
| 3 シスメックス           | ヘルスケア      | 日本 | 4.1% |
| 4 キーエンス            | 情報技術       | 日本 | 4.0% |
| 5 MonotaRO         | 資本財・サービス   | 日本 | 3.8% |
| 6 ホシザキ電機           | 資本財・サービス   | 日本 | 3.7% |
| 7 光通信              | 一般消費財・サービス | 日本 | 3.2% |
| 8 日本M&Aセンター        | 金融         | 日本 | 3.2% |
| 9 シマノ              | 一般消費財・サービス | 日本 | 3.1% |
| 10 ファーストリテイリング     | 一般消費財・サービス | 日本 | 3.1% |

スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S<適格機関投資家限定>

5 月度の騰落率は、MSCI アジア太平洋 (日本を除く) インデックス (円建て換算) \*  
の-1.7%に対し、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S は-1.1%でした。4 月末  
時点の当ファンドのマザーファンドにおける資産構成比率、組入上位 10 銘柄は下記  
の通りです。また、4 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.1%、  
マザーファンドの組入銘柄数は 47 銘柄となっています。

(当ファンドは、マザーファンド【スパークス・ワンアジア厳選投資マザーファンド】を通じて投資を行うファミ  
リリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

|        |       |
|--------|-------|
| 外国株式   | 91.4% |
| 現金・その他 | 8.6%  |

国別株式投資比率と業種別投資比率

| 国名         | 比率(%)  | 業種           | 比率(%)  |
|------------|--------|--------------|--------|
| 1 香港       | 29.60% | 1 資本財・サービス   | 17.80% |
| 2 オーストラリア  | 14.64% | 2 金融         | 16.57% |
| 3 台湾       | 10.77% | 3 一般消費財・サービス | 13.65% |
| 4 韓国       | 9.81%  | 4 情報技術       | 11.75% |
| 5 中国       | 9.29%  | 5 電気通信サービス   | 10.73% |
| 6 シンガポール   | 6.64%  | 6 公益事業       | 9.96%  |
| 7 フォリピン    | 3.77%  | 7 生活必需品      | 7.34%  |
| 8 タイ       | 2.33%  | 8 ヘルスケア      | 1.91%  |
| 9 マレーシア    | 1.90%  | 9 素材         | 1.73%  |
| 10 インドネシア  | 1.75%  |              |        |
| 11 アメリカ合衆国 | 0.93%  |              |        |

組入上位 10 銘柄 (マザーファンドの組入れ状況) ※アルファベット順

| 銘柄名                | 業種       |
|--------------------|----------|
| AIA GROUP LTD      | 金融       |
| CHINA STATE CONSTR | 資本財・サービス |
| JARDINE MATHESON   | 資本財・サービス |
| POWER ASSETS HLDGS | 公益事業     |
| PRESIDENT CHAIN ST | 生活必需品    |
| TAIWAN SEMICON MAN | 情報技術     |
| TELSTRA CORP LTD   | 電気通信サービス |
| TENCENT HLDGS LTD  | 情報技術     |
| TRANSURBAN GROUP   | 資本財・サービス |
| ZHEJIANG EXPRESS   | 資本財・サービス |

\*MSCI アジア太平洋 (日本を除く) インデックス (円建て換算) の騰落率は、MSC アジア太平洋 (日本を除く) イ  
ンデックス (ドル建て) を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン  
投信が提供する投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証  
するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。  
投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 5 月度運用レポート

バンガード 米国オポチュニティファンド  
(インスティテューショナルシェア・クラス)

5 月度の騰落率（ドルベース）はラッセル 3000 種指数の+1.5%に対し、米国オポチュニティファンドは+2.4%でした。3 月末時点の組入上位 10 銘柄と組入比率、および 4 月末時点の業種別投資比率は下記の通りです。また、4 月末時点の組入銘柄数は 203 銘柄となっています。

組入上位 10 銘柄と投資比率（2016 年 3 月末現在／四半期ごとに更新）

| 銘柄                       | 業種       | 組入比率 |
|--------------------------|----------|------|
| 1 ABIOMED Inc.           | ヘルスケア    | 4.8% |
| 2 Eli Lilly & Co.        | ヘルスケア    | 3.5% |
| 3 Southwest Airlines Co. | 資本財・サービス | 2.9% |
| 4 Delta Air Lines Inc.   | 資本財・サービス | 2.5% |
| 5 Alphabet Inc.          | 情報技術     | 2.4% |
| 6 Seattle Genetics Inc.  | ヘルスケア    | 2.3% |
| 7 Charles Schwab Corp.   | 金融       | 1.8% |
| 8 FedEx Corp.            | 資本財・サービス | 1.7% |
| 9 Amgen Inc.             | ヘルスケア    | 1.7% |
| 10 Biogen Inc.           | ヘルスケア    | 1.6% |

業種別投資比率（普通株式への投資に対する割合）

| 業種           | 組入比率  |
|--------------|-------|
| 1 情報技術       | 30.1% |
| 2 ヘルスケア      | 28.5% |
| 3 資本財・サービス   | 16.8% |
| 4 一般消費財・サービス | 14.7% |
| 5 金融         | 6.1%  |
| 6 生活必需品      | 1.4%  |
| 7 素材         | 1.0%  |
| 8 エネルギー      | 0.6%  |
| 9 電気通信サービス   | 0.6%  |
| 10 公益事業      | 0.0%  |

T. ロウ・プライス・ファンズ SICAV-US ラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド (インスティテューショナル・Iクラス)

5 月度の騰落率（ドルベース）はベンチマークであるラッセル 1000 グロース指数の+1.8%に対し、US ラージキャップ・グロース・エクイティファンドは+2.6%でした。4 月末時点の組入上位 10 銘柄、および業種別投資比率は下記の通りです。また、組入銘柄数は 65 銘柄となっています。

組入上位 10 銘柄／アルファベット順（上位 10 銘柄の合計：42.8%）

| 銘柄                      | 業種         |
|-------------------------|------------|
| Alexion Pharmaceuticals | ヘルスケア      |
| Alphabet                | 情報技術       |
| Amazon.com              | 一般消費財・サービス |
| Boeing                  | 資本財・サービス   |
| Bristol-Myers Squibb    | ヘルスケア      |
| Danaher                 | 資本財・サービス   |
| Facebook                | 情報技術       |
| Microsoft               | 情報技術       |
| Priceline               | 一般消費財・サービス |
| Visa                    | 情報技術       |

業種別投資比率

| 業種         | 組入比率  |
|------------|-------|
| 情報技術       | 27.3% |
| 一般消費財・サービス | 25.7% |
| ヘルスケア      | 22.3% |
| 資本財・サービス   | 14.9% |
| 金融         | 6.4%  |
| 生活必需品      | 1.3%  |
| 素材         | 1.0%  |
| 電気通信サービス   | 0.7%  |
| エネルギー      | 0.0%  |
| 公益事業       | 0.0%  |

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。



## セゾン資産形成の達人ファンド 5 月度運用レポート

アライアンス・バーンスタイン SICAV コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ (クラス I)

5 月度の騰落率 (ドルベース) は S&P500 指数の+1.5%、ラッセル 1000 グロース指数の+1.8%に対し、コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオは+1.7%でした。4 月末時点の組入上位 10 銘柄、および業種別投資比率は下記の通りです。また、組入銘柄数は 20 銘柄となっています。

組入上位 10 銘柄 / アルファベット順 (上位 10 銘柄の合計 : 58.94%)

|    | 銘柄                               | 業種         | 組入比率  |
|----|----------------------------------|------------|-------|
| 1  | Quintiles Transnational          | ヘルスケア      | 6.66% |
| 2  | Ecolab                           | 素材         | 6.64% |
| 3  | Amphenol                         | 情報技術       | 6.61% |
| 4  | Priceline                        | 一般消費財・サービス | 6.57% |
| 5  | Charles Schwab                   | 金融         | 6.50% |
| 6  | Automatic Data Processing        | 情報技術       | 5.81% |
| 7  | MasterCard                       | 情報技術       | 5.06% |
| 8  | Ulta Salon Cosmetics & Fragrance | 一般消費財・サービス | 5.06% |
| 9  | Verisk Analytics                 | 資本財・サービス   | 5.02% |
| 10 | Zoetis                           | ヘルスケア      | 5.01% |

業種別投資比率

|    | 業種         | 組入比率   |
|----|------------|--------|
| 1  | 情報技術       | 30.48% |
| 2  | 一般消費財・サービス | 26.64% |
| 3  | ヘルスケア      | 21.12% |
| 4  | 素材         | 6.64%  |
| 5  | 金融         | 6.50%  |
| 6  | 資本財・サービス   | 5.02%  |
| 7  | 生活必需品      | 3.60%  |
| 8  | エネルギー      | 0.00%  |
| 9  | 電気通信サービス   | 0.00%  |
| 10 | 公益事業       | 0.00%  |

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 5 月度運用レポート

### ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド SA ＜適格機関投資家限定＞

5 月度の騰落率は MSCI ヨーロッパ・インデックス（円建て換算）\*の-0.1%に対し、ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド SA は+2.0%でした。5 月末時点の資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 32 銘柄となっております。

（当ファンドは、マザーファンド【ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。）

#### マザーファンドの状況

##### 資産構成比率

|          |       |
|----------|-------|
| 外国株式等    | 96.9% |
| 短期金融資産など | 3.1%  |

##### 組入上位 10 銘柄と組入比率（マザーファンドの組入れ状況）

|    | 銘柄                           | 業種         | 国     | 比率   |
|----|------------------------------|------------|-------|------|
| 1  | INDITEX                      | 一般消費財・サービス | スペイン  | 7.3% |
| 2  | ESSILOR INTERNATIONAL        | ヘルスケア      | フランス  | 6.1% |
| 3  | AMADEUS IT HOLDINGS SA       | 情報技術       | スペイン  | 5.9% |
| 4  | NOVO NORDISK A/S-B           | ヘルスケア      | デンマーク | 5.7% |
| 5  | DASSAULT SYSTEMES SA         | 情報技術       | フランス  | 5.1% |
| 6  | COLOPLAST -B                 | ヘルスケア      | デンマーク | 4.8% |
| 7  | ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN | ヘルスケア      | スイス   | 4.2% |
| 8  | SARTORIUS STEDIM BIOTECH     | ヘルスケア      | フランス  | 4.1% |
| 9  | WIRECARD AG                  | 情報技術       | ドイツ   | 3.7% |
| 10 | ARM HOLDINGS PLC             | 情報技術       | イギリス  | 3.6% |

\*MSCI ヨーロッパ・インデックス（円建て換算）の騰落率は、MSCI ヨーロッパ・インデックス（ユーロ建て）を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

### ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA ＜適格機関投資家限定＞

5 月度の騰落率は MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円建て換算）\*の-3.2%に対し、ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA は-2.1%でした。5 月末時点の資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 38 銘柄となっております。

（当ファンドは、マザーファンド【ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。）

#### マザーファンドの状況

##### 資産構成比率

|          |       |
|----------|-------|
| 外国株式等    | 95.0% |
| 短期金融資産など | 5.0%  |

##### 組入上位 10 銘柄と組入比率（マザーファンドの組入れ状況）

|    | 銘柄                           | 業種       | 国    | 比率   |
|----|------------------------------|----------|------|------|
| 1  | TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR  | 情報技術     | 台湾   | 6.5% |
| 2  | CHINA MOBILE LTD             | 電気通信サービス | 中国   | 5.3% |
| 3  | NETEASE INC ADR              | 情報技術     | 中国   | 5.0% |
| 4  | CHINA LIFE INSURANCE CO-H    | 金融       | 中国   | 4.3% |
| 5  | POWER GRID CORP OF INDIA LTD | 公益事業     | インド  | 4.1% |
| 6  | INFOSYS LTD-SP ADR           | 情報技術     | インド  | 4.1% |
| 7  | CKH HOLDINGS                 | 資本財・サービス | 香港   | 3.5% |
| 8  | PING AN INSURANCE GROUP CO-H | 金融       | 中国   | 3.4% |
| 9  | BHARTI AIRTEL LIMITED        | 電気通信サービス | インド  | 3.0% |
| 10 | FOMENTO ECONOMICO MEXICANO   | 生活必需品    | メキシコ | 3.0% |

\*MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円建て）の騰落率は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（ドル建て）を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド  
5 月度運用レポート

## ■ファンドの特色

- ・世界への幅広い分散投資  
投資対象ファンドを通じて主として世界の株式に幅広く分散投資します。株式市場が過熱により有望な投資機会がないと判断した場合は、一部債券への投資を行うことがあります。
- ・厳選したファンドへの投資  
各地域に強みを持つ運用会社を厳選し投資対象ファンドとします。また、投資対象ファンドは全てアクティブファンドとなります。資産配分比率は、各国の株式市場の規模を考慮しつつも投資対象地域を幅広く分散すること、企業が収益を上げる地域もバランスよく分散されることを意識しております。
- ・長期的な視点に立った運用スタイル  
価格以上に価値があると考えられる投資対象に選別投資を行い、成果が上がるまで時間をかけて待つ運用スタイルをとり、長期的な資産形成に適したファンドを目指します。

## ■投資対象ファンドの選定条件

- ・長期的な視点で運用されていること。
- ・手数料が適正なこと。
- ・ファンダメンタル分析に基づいて運用されていること。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 5 月度運用レポート

### ■現在の組入れ対象ファンドについて

- ①バンガード 米国オポチュニティファンド  
 主要投資対象：主に米国の株式に投資します。  
 運用方針：平均を上回る潜在的な収益成長力がありながら、その企業価値がまだ市場価格に反映されていない銘柄へ投資することで、ファンド資産の長期的成長を目指します。
- ②TMA 長期投資ファンド<適格機関投資家限定>  
 主要投資対象：マザーファンドを通じて国内外の株式及び国内外の債券に投資します。  
 運用方針：生活者の視点から長期的に必要とされるビジネスを展開する国内外の企業を選別し、長期保有します。
- ③ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド S A <適格機関投資家限定>  
 主要投資対象：マザーファンドを通じて主にヨーロッパ諸国の株式に投資します。  
 運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。投資先の企業の短期的な株価の値動きではなく、その企業の中長期的な利益成長に対して投資を行います。
- ④ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド S A <適格機関投資家限定>  
 主要投資対象：マザーファンドを通じて主に新興諸国の株式に投資します。  
 運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。新興国市場では様々なリスクが存在するため、健全な財務体質であることや透明なディスクロージャーを行っていることなどを重視し、長期的に信頼できる企業に選別投資を行いません。
- ⑤T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-グローバル・アグリゲート・ボンド・ファンド  
 主要投資対象：国債、政府機関債、地方債、国際機関債、社債、モーゲージ、アセット・バック債など譲渡可能証券から成る広く分散されたグローバルなポートフォリオに主に投資します。  
 運用方針：リサーチ・リソースを最大限に活用して、グローバルに全ての投資機会を捉え、厳正なリスク管理を通じてリスク調整後のトータルリターン最大化を目指します。
- ⑥T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-US ラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド  
 主要投資対象：大型米国会社の譲渡可能株式および株式関連証券から成る広く分散されたポートフォリオに主に投資します。  
 運用方針：平均を上回る収益成長率が期待でき維持できる可能性がある企業へ重点を置いて投資し、長期的な元本成長をもたらすことを追求します。
- ⑦スパークス・集中投資・日本株ファンド S <適格機関投資家限定>  
 主要投資対象：マザーファンドを通じて国内の株式に投資します。  
 運用方針：ベンチマークや業種にとらわれず、魅力的と判断した国内の株式に集中投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行います。長期的な投資時間軸を持つことで、マーケットに埋もれている投資機会の発掘に努めます。
- ⑧スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>  
 主要投資対象：わが国の株式を主要投資対象とします。  
 運用方針：わが国の金融商品取引所に上場している株式の中から、ベンチマークは設けず 20 銘柄程度に厳選投資を行い、原則として短期的な売買は行わず長期保有することを基本とします。
- ⑨アライアンス・バーンスタイン SICAV コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ  
 主要投資対象：主に米国株式に投資します。  
 運用方針：非常に質が高く成長が期待できると判断する厳選された米国企業の株式等から構成されるアクティブ運用型の集中投資ポートフォリオに投資します。
- ⑩スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S <適格機関投資家限定>  
 主要投資対象：マザーファンドを通じて、日本を除くアジア・オセアニア地域の取引所に上場している株式等への投資を行います。  
 運用方針：個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、企業価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資します。
- ⑪コムジェスト日本株式ファンド<適格機関投資家限定>  
 主要投資対象：マザーファンドを通じて、日本の株式に投資します。  
 運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。投資先の企業の短期的な株価の値動きではなく、その企業の中長期的な利益成長に対して投資を行います。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目録見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。



### ■お申込みメモ

- お申込受付日：原則として、毎営業日にお申込を受付けます。ただし、ニューヨーク、ロンドン、アイルランドの銀行休業日、ニューヨーク、ロンドンの証券取引所休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
- お申込受付時間：原則として、午後 2 時までに受付けた申込みを当日の申込みとします。
- お申込価額：取得申込日の翌々営業日の基準価額  
(当初元本は、1 口あたり 1 円)
- お申込単位：1 万円以上、1 円単位  
定期積立プランの場合は 5 千円以上 1 千円単位
- お申込手数料：ありません
- ご解約受付日：原則として、毎営業日にご解約の請求を受付けます。ただし、ニューヨーク、ロンドン、アイルランドの銀行休業日、ニューヨーク、ロンドンの証券取引所休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
- ご解約請求受付時間：原則として、午後 2 時までに受付けた解約請求を当日の請求とします。
- ご解約単位：1 口以上、1 口単位
- 解約代金のお支払い：原則として、解約請求受付日から起算して 6 営業日目にお支払いします。
- 解約価額：解約請求受付日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額。
- 信託財産留保額：0.1%
- 信託設定日：2007 年 3 月 15 日
- 信託期間：無期限
- 決算日：毎年 12 月 10 日（休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配：決算時（年 1 回）に収益分配方針に基づき、分配を行います。（基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行わないことがあります。）当ファンドは分配金再投資専用のため、分配金は税金を差し引いた後、自動で再投資いたします。
- 課税関係：収益分配時の普通分配金ならびにご解約時および償還時の譲渡益相当額（法人の場合は個別元本超過額）に対して税金※が課せられます。  
※詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。税法等が改正された場合には、上記内容が変更になる場合があります。

### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 5 月度運用レポート

### ■当ファンドに係る手数料等について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して 0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年 0.5832% (税抜 0.54%) の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年 1.35%±0.2% (概算) となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 (有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬 (消費税含む) および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均、S&P500、S&P/ASX200 指数、S&P/BSE SENSEX インド指数は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス (S&P DJI) の商品です。これらの指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。

S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失 (収入の損失、利益の損失、機会費用を含む) について一切の責任を負いません。

### セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 349 号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口 : 03-3988-8668

(受付時間 9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く)

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。